



機械器具(76)医療用吸入器
一般医療機器 非加熱式ネブライザ 35457000

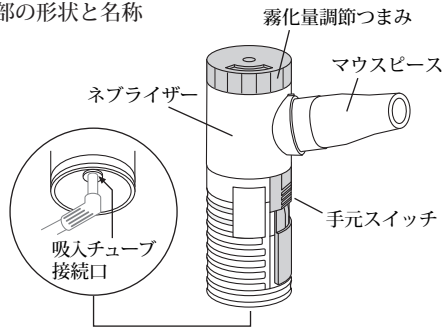
「ネスコジェット® AZ-11」の付属品
ネブライザー（マウスピース付）AZ11-1

【警告】

- 1) 必ず医師などの指導により使用すること。[誤って使用すると症状が悪化するおそれがある。]
- 2) 使用薬剤、用量、用法は必ず医師の指示に従うこと。[誤って使用すると症状が悪化するおそれがある。]
- 3) 本装置を本来の使用目的(適用)以外に使用しないこと。[適用以外に使用するとおそれある事態を招くおそれがある。]

【形状・構造及び原理等】

1. 主要部の形状と名称



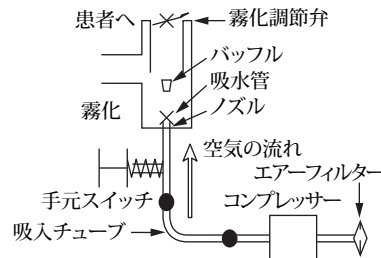
2. 材質

ポリ-4-メチルペンテン/ポリサルホン[マウスピース：ポリ-4-メチルペンテン]

3. ネブライザーの薬液容量 約10mL

4. 原理等

本体内のコンプレッサーで圧縮空気を作り、その圧縮空気は吸入チューブを介してネブライザーへ供給される。ネブライザーの薬液槽のノズルで絞られ、圧縮空気は流速を増すことで吸水管とノズルの隙間から薬液を吸い上げ、その上のパッフルにあたり薬液は細かな霧となる。



5. 仕様等

ネブライザー
霧化量 0.3mL / 分以上

【使用目的又は効果】

患者に吸入させるため、エアロゾル化した水又は医薬品を供給する装置をいう。エアロゾルを発生させる酸素又は空気源、医薬品のリザーバ、パッフル、コンプレッサを内蔵する。

【使用方法等】

- 1) ネスコジェット® AZ-11(以下本体)の電源スイッチがオフ(電源ランプが消灯)であることを確認後、電源プラグをコンセントに差し込むこと。
- 2) 吸入チューブを取り出し、一端を本体の吸入チューブ接続口に差し込む。他の一端はネブライザーの吸入チューブ接続口に差し込む。差し込み方は先端のL型プラグを回しながら押し込むこと。
- 3) ネブライザーの手元スイッチが上の位置にあるのを確認する。
- 4) 医師より処方された吸入薬剤をネブライザーに注入する。
- 5) 本体の電源スイッチをオン(電源スイッチを照光状態にする)にする。
- 6) ネブライザーの手元スイッチを下側へ下げ、霧化するのを確認する。
- 7) 霧化量はネブライザーの霧化量調整つまみで調整する。つまみを反時計方向(1の方向)に回すと霧化量が少なくなり、時計方向(7の方向)にまわすと霧化量が多くなる。
- 8) ネブライザーを本体のネブライザー保持部に差し込む。使用しやすい高さにネブライザーを上下させて調節する。

<使用方法等に関連する使用上の注意>

- ・薬液最大レベルライン以上に、薬液を入れないこと。[このライン以上に薬液を入れると、霧化能力が著しく低下する。または液漏れを生じる。]

【使用上の注意】

・重要な基本的注意

- 1) 交叉感染防止のため、下記の事項に注意すること。
 - ① マウスピースは、使用後及び患者が替わると、薬液を変更するごとに洗浄・消毒するか、または洗浄・消毒済みのものと交換すること。
 - ② ネブライザーは、使用後及び薬液の変更時に必ず洗浄・消毒すること。
- 2) 一度使用した古い薬液は廃棄し、吸入ごとに新たな薬液を使用すること。
- 3) 薬液量に相当する吸入時間が経過しても完了しない場合は、ネブライザーの目詰まりや破損、本体などの故障の可能性がある。

【保管方法及び有効期間等】

・保管方法

気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、硫黄分を含んだ空気、化学薬品などにより悪影響の生ずるおそれのない場所に保管すること。

【保守・点検に係る事項】

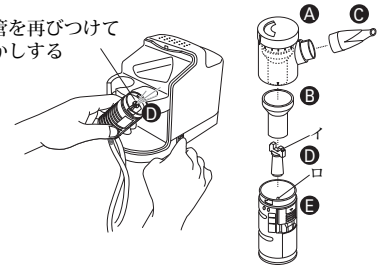
・使用者による保守点検事項

《洗浄及び消毒法》

使用直後に空ぶかしをした後、ネブライザー(本体)を温湯で洗浄・消毒し、乾燥させる。これを怠ると吸水管など(イ、ロ)に残留薬液が乾燥固化して、使用不能になる。(図参照)

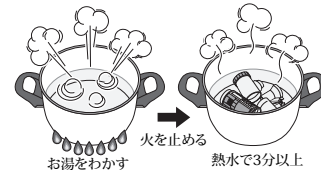
空ぶかし

吸水管を再びつけて空ぶかしする



洗浄・消毒

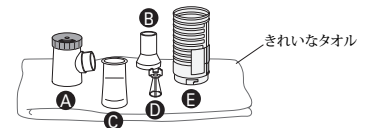
(例) 鍋でわかした熱水にA B C D E を入れ消毒



(取り出す時はやけどをしないように少しさましてから取り出しましょう)

自然乾燥

※乾燥中に汚染されないようにしましょう



【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

alfresa

製造 アルフレッサ ファーマ株式会社
販売元 大阪市中央区石町二丁目2番9号

問い合わせ窓口「営業本部 メディカルデバイス営業統括部 MD推進部」
電話番号：06-6941-0303

®登録商標